



◆コロナ関係

久しぶりの制限のないゴールデンウィークで、各地は行楽客や帰省客が賑わい、鉄道も道路も混雑していました。連休明けの8日くらいから各地で感染者が増えてきており、どの程度の増加で収まるか注視する必要があります。

2年半もマスク生活が続くと、マスク外すのは人前に素肌をさらすような感じがして恥ずかしいと思う人もいます。

子どもにアデノウイルスによる急性肝炎が報告されています。原因は定かではありませんが、コロナ感染で隔離状態が続いた子どもに、本来なら大勢の子どもが交じりあうことで感染し獲得する抗体が不十分のために重症化するのではという説もあります。

私の1歳半の孫でもアルコールでの消毒を自分でしようとするくらい、コロナではアルコール消毒が当たり前になりました。コロナはアルコール消毒が効果がありますが、アルコール消毒が無効のウイルスや細菌もあります。基本は手洗いであることを再認識する必要があります。



ライオンに追われたウサギが逃げ出す時に、肉離れをしますか？
要は準備が足りないのです。

イビチャ・オシム

先日亡くなったオシム監督の言葉です。世界各国で豊富な指導歴を持つサッカー指導者で数々の名言を残しています。

- ・本当に強いチームというのは夢を見るのではなく、できることをやるものだ。
- ・大事なことは、昨日どうだったか、明日どうかではなく、今日一日を大切にすること。
- ・いつも理想的であるとは限らない。

◆今週の院長予定

5月9日	月	8:00運営会議、17:30経営改善会議			
5月10日	火	9:00外来、14:00手術、17:30業務改善委員会			
5月11日	水	松江			
5月12日	木	9:00~11:00来客			
5月13日	金	9:00外来、14:00手術、16:00コロナ会議			
5月14日	土	歯科治療のため休みます			

◆私の本棚

・プーチン大恐慌

ウクライナ後の世界で日本が生き残る道
宮崎正弘、渡邊哲也 ビジネス社

バイデン、ゼレンスキー、プーチン、習近平の写真とこの戦争は全員悪人と本の帯に載せている。過去の戦争を紐解きながら、国益を守るために大国はいかに巧みに振舞ってきたかを分かりやすく解説。国を守るためなら、悪魔とも手を握るのが国際政治の真実。

ウクライナ戦争で見えてきた世界と日本の大問題。欺瞞だらけの地球温暖化。GAFAの内幕などテレビや新聞では決して分からない情報をもとに今後日本が生き残る方法を提示している。

宮崎氏は、日本でも有数の中国ウオッチャーであり、日本の歴史にも精通している。氏が配信するメルマガは超おススメ。



縁の下の力持ち⑭
治験管理室

治験コーディネーターの山口室長が中心となって、製薬メーカーからの治験を引き受け、年間数件の案件をすすめています。

治験を行うためには、症例数があること、病院の設備が整い診療内容がきちんとしていること、治験審査委員会が第三者をいれて開催されていること、など、色々な条件をクリアする必要があります。対象患者さんへの十分な説明や、診療科の医師と製薬会社と橋渡しも必要です。また膨大な関係書類をまとめなければなりません。

医療知識のみならず、文書リテラシー、コミュニケーション力などさまざまな能力が求められる部署といえます。

神戸で一番
親切で
丁寧で
優しい医療を

